

令和2年12月の労働市場の動き

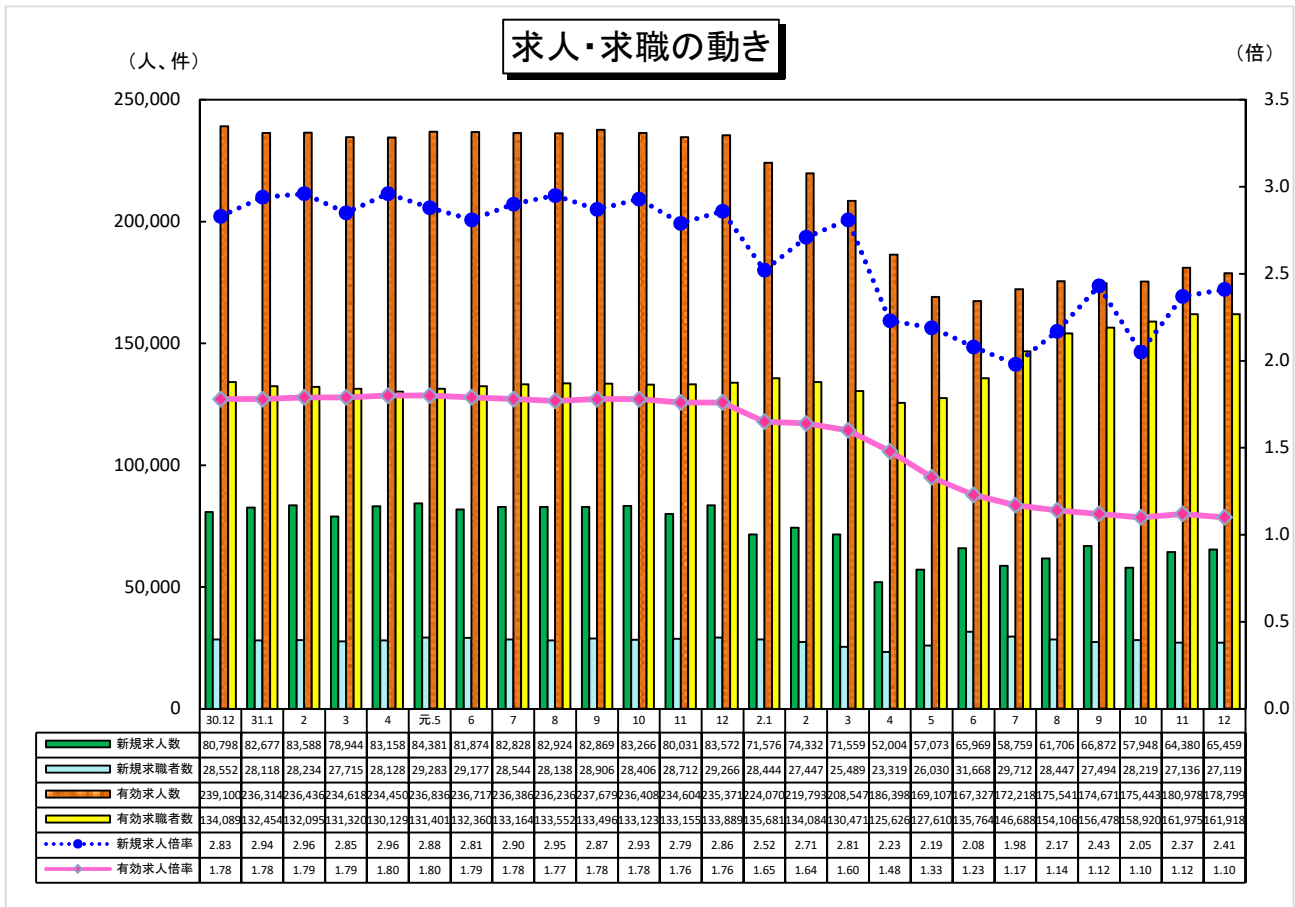
(求人倍率)

- 大阪府の令和2年12月の有効求人倍率(季節調整値)は1.10倍となり、前月より0.02ポイントの低下となった。
- 新規求人倍率(季節調整値)は2.41倍となり、前月より0.04ポイント上昇した。

【参考】 就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は0.92倍となり、前月より0.01ポイント低下した。
6か月連続で1倍を下回っている。

(求人・求職の動き)

- 12月の新規求人数(季節調整値)は前月比1.7%増となり、有効求人数(同)は前月比1.2%減となった。
- 新規求職申込件数(季節調整値)は前月比0.1%減となり、有効求職者数(同)は前月比0.0%と横ばいとなった。
- 12月の新規求人数(原数値)を前年同月と比較すると20.7%減となった。これを主要産業別にみると、建設業(前年同月比19.8%増)、製造業(同20.3%減)、情報通信業(同30.2%減)、運輸業、郵便業(同37.2%減)、卸売業、小売業(同33.6%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同20.1%減)、宿泊業、飲食サービス業(同54.1%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同19.3%減)、教育、学習支援業(同12.6%減)、医療、福祉(同6.4%減)、サービス業(他に分類されないもの)(同22.5%減)と「建設業」は3か月ぶりに増加し、その他の産業では減少となった。



(注) 各月の数値は季節調整値。R2.2季節調整替。